

すぐに役立つくらしの健康情報——

# こんちわ

2013年 4月号



がん対策は早期発見・早期治療が一番大切です。広島県のがん検診受診率は残念ながら20～30%と全国平均より低く、そのため広島県ではがん対策日本一の実現を目指し、がん対策サポートドクターの養成を開始しました。私も『がんよろず相談医』に認定されています。

また当院は県がんネットで肺癌、肝癌、胃・大腸癌の検診施設になつておりますので、がんの早期発見・早期治療のためにどうぞお気軽にご相談ください。

平成25年4月

院長 医学博士 前田 正博



花の季節と共に新し  
い年度が始まりました  
が皆様におかれまして  
は如何お過ごしでしょ  
うか。

我が国の死因は半数  
以上ががん、心疾患、脳血管疾患の3つで占め  
られています。

広島県でも死因の1位は昭和54年より33年間  
連続してがんで、年間約8000人が亡くな  
れています。2人に1人はがんにかかる可能性が  
あり、また3人に1人はがんで死亡されており  
ます。

がんよろず相談医